



2021年11月11日

各 位

会 社 名 **太洋物産株式会社**

代 表 者 名 代表取締役社長 柏原 滋

(コード：9941 東証JASDAQ)

問 合 せ 先 総務部

役 職 ・ 氏 名 マネージャー 井坂 勇登

電 話 (03) 5946-8000

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月27日に公表した業績予想を下記の通り上方修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年9月期 通期個別業績予想数値の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,051	百万円 70	百万円 12	百万円 7	円 5.27
今回修正予想 (B)	16,423	224	171	113	83.53
増減額 (B-A)	1,372	154	159	106	
増減率 (%)	9.1	220.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年9月期)	14,800	△267	△323	△391	△294.79

修正の理由

当事業年度における経済環境は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延の収束には至っておりませんが、各国におけるコロナワクチンの接種率にばらつきがあるものの感染者数は減少傾向となっており、我が国に於いてもオリンピック・パラリンピックが開催され、ウィズコロナとしてニューノーマル状況を受け入れながら、一部の業界には経済活動に活気が戻りつつある中、当事業年度末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商材である食肉関連では、外食産業を主要取引先としていることから、来客の減少から牛肉・加工食品の仕入量が抑えられ、当社の販売量も減少しております。また、原産地でのコロナの影響等も加わり生産量の低下や船積遅延等による供給減少により食肉全般で価格が高騰しております。しかしながら、このような環境にあるため、比較的安価な食肉としての輸入鶏肉の需要が高まり、想定以上の利益を計上することができました。また、中国向け新規ビジネスとして取り組み始めている中国のネット販売会社向けの生活関連商品の拡販が寄与することができました。

また、当事業年度の2020年11月に本社事務所を市谷に移転し、固定費の削減効果も大きく、経常利益の改善に寄与しました。

この結果、当事業年度における売上高は164億万円(前事業年度比 10.9%増)、営業利益2億24百万円(前

事業年度は、営業損失 2 億 67 百万円)、経常利益 1 億 71 百万円(前事業年度は、経常損失 3 億 23 百万円)、当期純利益 1 億 13 百万円(前事業年度は、当期純損失 3 億 91 百万円)となることから、2020 年 11 月 27 日公表の 2021 年 9 月期業績予想を上方修正し、売上高を 164 億 23 百万円、営業利益 2 億 24 百万円、経常利益 1 億 71 百万円、当期純利益 1 億 13 百万円とさせていただきます。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上